

▲第十八回

北九州市自分史文学賞決まる

第十八回北九州市自分史文学賞は、全国及び海外から三七七編の応募があり、大賞「私の赤ちゃん」(鈴木政子)、佳作「幻の川」(桜田靖)、佳作「財産なんて」(父母と私の戦後史)(高松直躬)北九州市特別賞「十坪の店の物語」(阿部照子)が決定しました。

▲第一回

北九州文学協会文学賞決まる

北九州文学協会が主催する「北九州文学協会文学賞」の受賞者が決まりました。最優秀作品は左記のとおり。表彰式は三月十六日に文学館で開催されます。○小説 大賞「メッセージ」千葉真由子(春日市) ○詩 金賞「晩夏」中原歆子(小倉南区) ○エッセイ 最優秀賞「何日君再来」天川悦子(小倉北区)

○俳句 寺井谷子選特選「寝て起きてこの世短し稲の花」江島藤代(八幡西区) 岸原清行選特選「音消えてをり日盛りの刃物店」江島藤代(八幡西区) 本田幸信選特選「日焼け児の空 いっぱいの好奇心」伊藤久美子(戸畑区)

予告

▲企画展「神沢利子展(仮称)」

7月19日～9月15日

『くまの子ウーフ』、『ふらいばんじいさん』などの児童文学で知られる神沢利子さん。長年にわたり親しまれる、作品世界を紹介いたします。期間中には、神沢さんと水上平吉さん(児童文学誌「小さい旗」主宰)による対談も。

親子で、友だち同士で、ウーフと一緒に夏休みを過ごしてみませんか。

神沢利子さん

児童文学者。一九二四年、福岡県戸畑市(現・北九州市)生まれ。幼少期を北海道で過ごす。二〇〇四年の北九州市民文化賞をはじめ、受賞多数。



神沢利子作／井上洋介絵「くまの子ウーフ」(ポプラ社1969.6)

▲対談「自分史を語ろう」

館長佐木隆三が、対談を通してゲストの自分史に迫る「自分史を語ろう」を開催します。

第四回目のゲストは、二十八歳の若さで八幡製鐵所職員としてブラジルのウジミナス製鐵所設立に携わった、北九州市立大学理事長の阿南惟正さんです。

予告

応募方法は市政日より3月1日号に掲載します。

*日時 3月30日午後1時～2時30分

▲「与謝野寛・晶子展」記念

高橋睦郎さん講演会

*日時 4月20日(日) 午後1時30分～3時

*会場 北九州芸術劇場小劇場

*定員 二〇〇名

応募方法は市政日より3月15日号に掲載します。

▲文学講座

*日時 第四回特別企画展

「与謝野寛・晶子展」開催中の土曜日午後1時～2時30分

*会場 北九州市立文学館

*受講料 二〇〇〇円

(全五回分・展覧会図録を含む)

*講師

4/26 國生雅子氏(福岡大学教授)

5/10 井上洋子氏(福岡国際大学教授)

5/17 島田裕子氏(歌人・梅光学院大学教授)

5/24 阿部誠文氏(歌人・俳人・九州女子大学教授)

5/31 近藤晋平氏(近代文学研究家)

応募方法は市政日より4月1日号に掲載します。

▲文学館文庫の出版

現在書店ではなかなか入手できなくなった北九州ゆかりの文学者の作品を出版し、販売しています。第一巻「火野葦平 岩下俊作 劉寒吉 集」、第二巻「林芙美子 短編集」に続いて、第三巻「杉田久女 句集」(昭和二十七年に刊行された「杉田

久女句集」を収録)を販売開始しました。第一巻、第二巻は定価千円(税込)。第三巻は定価七〇〇円(税込)。



◎資料寄贈者・受贈雑誌一覧

(平成二十年三月現在)

資料寄贈者

阿部誠文 荒井千佐代 安間隆次 石太郎

市川市 伊藤比呂美 今村元市 大川ゆかり 岡口茂子 柏木恵美子 清田文武 近藤晋平

佐藤幸乃 添田裕吉 鷹取美保子 谷喜美子 土田晶子 中原澄子 中村吟佳子 花田宏

原田慶子 火野葦平資料の会

星野允伸 増田連 三鷹市山口公和 山本哲也 山本好昭

受贈雑誌 青嶺 あしへい

あん 色鳥 沖 牙 九州作家

九大日文 群炎 玄海 詩塔

自鳴鐘 驟雨 川柳あやめ 川柳くらがね 川柳むらさき 天

籟通信 小さい旗 虹野 橋

文藝公論 (五十音順・敬称略)

北九州市立文学館

発行 2008年3月1日
北九州市立文学館
〒803-0813
北九州市小倉北区城内4-1
TEL 093-571-1505
http://www.city.kitakyushu.jp

■開館時間
火～金 9:30～19:00(入館は18:30まで)
土・日・祝 9:30～18:00(入館は17:30まで)

■休館日
毎週月曜日(月曜日が休日の場合は翌日)
年末年始



■JR小倉駅より徒歩15分 ■JR西小倉駅より徒歩10分
■北九州市役所前(入扉より徒歩2分) ■北九州市都市高速大手町ランプより2分
■駐車場は文学館最寄りの各有料駐車場をご利用下さい